

まもなく1年が終わろうとしています。

卒業式が終わり、3年生は、それぞれの進路に向けて巣立っていきました。後に残された1, 2年生も4月から2年生、3年生となり本校を支える存在となってまいります。卒業生が残してくれた伝統を引き継ぐとともにそこに新たに新風を吹き込むことで、更なる本校の発展をめざし、頑張っしてほしいと思います。

23年度は、いろいろなことがありました。東日本大震災はその最たるものであったかもしれません。現在、復興をめざし少しずつではあっても取り組みは進められています。この悲しく、残念な記憶を風化させない為にも、本校でも自分たちに何が出来るのか生徒会を中心に考える機会を持ち、それを具体化してきた1年でしたが、来年度も引き続き、何らかの実践ができたかと考える次第です。

この1年間、お世話になり、まことに有難うございました。

よりよい学校づくりをめざして



年度末を迎え、現在今年一年の教育活動についても振り返りを行っているところです。昨年12月に実施した学校自己評価のアンケート結果については分析とともにすでにお知らせしたとおりですが、アンケートにはご意見やご要望もご記入いただきました。

お寄せいただいたものについては、すでに全職員で確認し、学校の課題として今後の改善に向けての資料とさせていただきます。

特に登下校における交通安全マナーの不徹底につきましては様々な場面でご指摘をいただいています。現在下校指導を重点的に行っているほか、月1回PTAの校外指導部が校区内7箇所登校時安全指導、文化教養部が校門で朝の挨拶運動をしていただいています。さらに水沢こどもをみまもる会と連動し、交通安全指導員の方に下校時の交通安全指導を行っていただいたり、学級指導、全校集会においても繰り返し注意を促したりしています。しかしながら、なかなか改善されない状態です。引き続き指導を強化し、交通安全に努めていく所存ですが、保護者の皆様も登下校時にお時間が合えば、生徒への言葉がけや指導をお願いします。又、お気付きの点は、その都度、ご連絡ください。

通信を通じて学校の情報を発信してほしいというご要望もいただきましたが、これまで学校通信は40号まで発行させていただきました。まだまだ不十分な面もあろうかと思いますが、極力これからも発信していきますのでよろしくお願い致します。また、即時性の高いものは、お知らせボードで今後も発信していきますので、ご覧いただきますようお願い致します。

職場体験の成果についてお尋ねもありました。3日間の職場体験を通して子どもたちは確実に成長してくれたと考えます。本番までの事前学習、ゲストティーチャーの話、依頼の電話、事前打ち合わせの為の職場訪問、そして3日間の実践と限られた時間の中で実に多くの体験を重ね、多くのことを学んできてくれました。学校を離れて、責任ある行動を要求される環境は彼らを一回りも二回りも成長させてくれたようです。

また、異常気象ということもあり、今年は夏服を体操服で対処という処置を採らせていただきましたが、来年度も状況に応じた対応を採らせていただきます。

部活動の指導についてもいろいろご指摘をいただきました。真摯に受け止め、今後の指導に努めていきたいと考えます。この他にもいくつかの貴重なご意見やご要望をいただいております。でき得る限り、要望にはお応えしていく所存ですが難しいことがらもあり、その点につきましてはご了承下さい。今後もよりよい学校づくりに向けて、ご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

被災地を励まし続けた

「アンパンマンのマーチ」

東日本大震災が起きたとき、TOKYO FMの番組制作部プロデューサー平岡俊一さん（41）は15時から始まる会議に出席するため移動しているところだった。「あの時はみんなそうだったと思いますが、最初は何がなんだか分からなくて・・・」その後、伝わってくる情報でただならない事態が起こったことを知った。一中略一聴取者から「被災地に届けたい音楽」を募集した。リクエストをもとに集められたCDを前にディレクター、構成作家の3人で選曲を始めた。FM局が流す音楽は洋楽やヒット曲が多い。最初は英国のバンド、シャーデーの「バイ・ユア・サイド」を流したが、しっくりこない。「もっとストレートに被災者の心に届く曲はないのか・・・」。そう思っていた時、目にとまったのが「アンパンマンのマーチ」だった。・・・・・・・（朝日新聞 be on Saturday より）

私は、この記事を見たとき、清家さんの講演を思いました。この曲は被災地に向けて繰り返し、流され、NHKや他のラジオ局でも繰り返し流されたそうです。あまりに大きな痛手に被災地はもちろん、日本全体が心が折れそうになる中、「心の復興」の歌として人々を励まし続けたのです。

震災後、やなせさんは支援活動を続け、岩手県陸前高田市に残った「奇跡の一本松」を題材に歌も作りました。だが、体調が良くない状態で、肺炎、腸閉塞を発症、がんが再発したそうです。今も被災地からは「来てくれ」という声が届くが、と苦笑し、「アンパンマンじゃないが、もう体はボロボロ。そろそろ死ぬのかな?」、「でもね」と言葉をついで「日本は大丈夫。あの敗戦の焦土から立ち直ったんだ。大変だけど、きっと復興するよ!」この言葉を信じたいし、そうなるように私たちもできることをこれからもやり続けたいと思います。小さなアンパンマンとして。



（朝日新聞 be on Saturday より）

白梅が咲きました。

今年はいつものより寒さ厳しく、本来であれば2月には学校敷地内の白梅も花を咲かせるのですが、今の時期やっとなり満開となりました。暑い夏に耐え、そして冬の寒さにふるえながら、それでも春の到来を告げるかのように芳香を放ち、無心に咲き続ける花に心打たれる思いです。白梅は精一杯花を咲かせ、やがて桜へとバトンタッチしていくのでしょうか。そして桜の咲き誇る中、始業式入学式・・・また、1年が始まります。

この1年間、十分とは言えませんが、学校での様子を、特に学校行事、学年行事等における生徒たちの様子を中心にお知らせしてきました。拙い文章で、少しでも学校の様子を分かっていたらという思いで書きましたが、少しでも目を通していただいていたならば幸いです。本当にお世話になりました。

